

## 第3回 苫小牧市基本構想審議会 議事録要旨

- 【日 時】 平成29年11月28日（火）15:00～16:30
- 【場 所】 苫小牧市役所9階 議会大会議室
- 【出席者】 石田会長、佐藤副会長、古崎委員、秋山委員、後藤委員、星野委員、  
沖委員、守屋委員、高橋委員、松原委員、本間委員、熊谷委員、  
長山委員、土肥委員、地白委員、竹谷委員、飛渡委員

### 議 事 内 容

#### 1 開会

#### 2 議事

(1) パブリックコメントの結果について

(2) 基本構想案の修正について

＜(1)、(2)を合わせて事務局より説明＞

質疑なし

＜議員協議会の意見に対する方向性について事務局より説明＞

#### ○会長

議員協議会の意見に対しての方向性ということで、目標時期が10年間で流れが速い云々という話があったが、前文の中にも、これまでもいろいろと環境の変化に応じて改定してきているという趣旨で、従来から基本構想は10年間というスパンを決め、具体的なものの推進としての基本計画は5年間というスパンの中で進めているというふうに理解している。これを10年間で固定して、基本計画の中で修正するのではなく、基本構想自体も修正することは、時代の流れが速い現在、必要ではないかと思う。これは、そういう考え方でよいのか。

#### ○事務局

基本構想については、市が目指す理想の都市や、市政を総合的かつ計画的に推進するための施策の方向を明らかにするもの。その下にある基本計画については、基本構想で示す理想の都市の実現のために、まちづくりの総合的な指針として、施策を明らかにするもの。

その下にもう一つ実施計画があり、基本計画に基づいた事業を具体的に数字も出して明らかにするものからなる。基本構想は10年。基本計画は5年。実施計画はその5年の中で、前半2年と後半3年に分けることを考えている。

この基本構想の10年という部分は、10年後を見据えた苫小牧市の理想の都市の方向性を謳っており、基本的には、いろいろな意見を貰いながら、議会の議決を経た中で、変更が起こるということは想定していない。ただ、議員協議会では、例えば、大きな災害、地震、台風等々の被害、さらに北朝鮮の問題など、情勢が目まぐるしく動くということを想定すると、この修正がありうるという文言を入れておく必要はあるのではないかという内容の意見があった。基本的には、基本構想は簡単に直せるものではないという考え方に変わりがないが、変更の可能性も残すものである。

### (3) 意見交換

#### ○A 委員

今、説明あったパブリックコメントは、私も提案したものもあり、最終的には基本計画に反映するという回答だったが、基本計画はもう既にできあがっているのか。

#### ○事務局

基本計画については、基本構想とあわせて策定を進めているところで、まだ完成というわけではない。流れとしては、本来、基本構想ができたうえで、それに基づいて基本計画ができるという流れとなる。事前送付の資料の中に、厚い冊子、総合計画第6次基本計画素案というのが入っていたと思うが、これがまさに基本計画である。こちらについて、意見があれば、これからパブリックコメントも行うので、寄せてもらえれば、反映していきたい。

#### ○A 委員

今回の基本構想審議会の中では、基本計画については具体的に中身に触れていくということはないのか。

#### ○事務局

この審議会は、あくまで基本構想の審議会なので、基本構想案について審議して、答申することになっている。話す内容、主な主題としては、基本計画は含まれないが、意見を受けることは行っていきたい。

○会長

あくまでも、この基本構想審議会で審議するのは、基本構想、施策の方向性を示す大枠の部分である。皆さまにも事前に第6次基本計画の素案が渡っており、この基本構想の項目に従って、それぞれ具体的にいろいろな施策が記述されている内容となっている。これについても何か意見があれば、発言してもらえれば今後の参考となるのではと思う。

○B委員

基本構想を審議して、意見を述べるということで、基本計画は細かい段階のものだと思っている。基本計画は中身を見るのに、もう少し時間がかかると思う。その中で、何かあれば意見を述べるというのはできるのか。

○事務局

この会議の場は、基本構想について、審議、意見を出し合い、市長に答申してもらうものである。基本計画は、本来、基本構想ができてから作るべきものであるが、本市の基本構想は、基本計画と体系が連動しているので、基本計画の策定の作業も同時に進めている。基本計画への意見は、これから基本計画のパブリックコメントがスタートするので、その中で、ぜひ意見を寄せてもらえればと思う。

○C委員

少子高齢化が進んでいるということで、子育て世代にとってのまちの魅力は、まちづくりに対する魅力だと思う。若い世代の人たちが買い物に行くというと、皆さん札幌方面に行ってしまうのが避けられない状況がある。保育料の無償化だとか、保育士の処遇改善だとか、市の努力があつて、保育事業者も相当助かっているが、それを受ける親御さんたちが、ここの苫小牧市に何を魅力が持てるのかというと薄いような気がする。例えば苫小牧は、他市町村では雪がすごくて大変だが、苫小牧はない。でも寒い。子どもたちは外で遊ぶ場所がない。駅前の問題も含めて、全体的に魅力がもっとあるまち、住んでいたいなというまちをどうしたらいいかというのを一番の基本として、もっとわかりやすく表現できたらと思う。

○会長

何かその辺、子育て支援的なものの中で、あれば。

○事務局

子育ての魅力、まちの魅力、少子高齢化の意見。少子高齢化、人口減少という部分は、本市のみならず全国的な課題。その中で苫小牧市も4年前、平成26年から人口減に入った。この構想の中でこだわっているところは、雇用と人材の育成、人材の確保である。今、企業では人手不足が深刻な課題という中で、外から入ってくる方にとって、子育て環境は非常に重要な課題である。

基本構想自体は、理想の都市を目指すための施策の方向を明らかにするという中で、この下に基本計画、実施計画がぶらさがる。その基本計画に細かいものが全部載っているかという点、基本計画は、あくまで総合的な指針を示すもの。その中に、いろいろな保育関係の計画とか、駅前の買い物の面では都市計画に関する都市計画マスタープランというものも、この総合計画に合わせて改定することになる。このように、この基本構想、基本計画、実施計画にぶらさがる様々な計画があり、今後どうしていくというような内容が盛り込まれるというふうに理解してもらえればと思う。

#### ○会長

事前に配られている基本計画の中にも、子育て支援の充実というものが謳っている。この子育て支援の充実の基本計画の中で、本当にこれからの子育てをする方たちが、将来明るい未来を苫小牧の中に見出せるような何かが具体的に出てくれば大変よいのだが。

#### ○OD委員

若い方が買い物に札幌の方に流出するという話や保育など、いろいろな市民要望というものが、まちづくりの中であると思う。実際まちづくりというのは、行政と市民、住民が一体となってするものである。そういう部分では、市民もそれなりの負担をしていかなければ、理想のまちづくりはできない。域外への消費の流出、大手資本、ネット等々によって、地域の財源が流出している。それは商業者だけではなかなか止めることはできない。市民、地域住民は、自分たちのまちづくりをするために、地域でいかにお金を使っていくかということも考えていかなければならない。行政に要望だけをして、自分たちは負担がないというのでは、まちづくりというのはうまくいかない。まちづくりというのは行政と住民が協働して行っていくものというふうに思う。

#### ○OE委員

市民と商店街の話し合いが、平成7・8年ごろにあり、どうやってこの駅前を活性化していくか、一条通を活性化していくか、まちの昔の賑わいをどうやって取り戻すかということを経

談したことがあった。そういうこともやはり継続してやっていかなければ、こういうまちづくりというのはなかなか難しいと思う。

先月、ここで日本女性会議があった。そのときのアンケートの中に、「苦小牧は、苦小牧人（びと）が観光でした。それはすばらしいものでした。」という賞賛が書かれており、私も感動した。まちづくりというのは、やはり苦小牧の人たちが、温かい気持ちで暮らせるような、暮らすような、そういうまちをつくっていかねばならない。それがいろいろなことにつながっていくというのを外部から来た方に教えられたような感じがした。

先ほど、札幌の方に買い物に行くと話があった。札幌に行くと、選択肢があるが、苦小牧は選択肢が人口の割にはない。まちづくりというのは一人ひとりが参画して、作っていかねばならず、決して行政に求めるということではない。みんなが一緒になってやることではないかと思う。微力ながら私たちも協力していかねばならない。それは地域からだと思う。町内会から、私たちが住み、毎日生活している地域から、こういうまちづくりを作っていく基礎があるのではないかと感じながら、聞いていた。

#### ○会長

女性会議、私も出たが、来た方たち皆さんが、本当によかったと、親切にしてもらったという気持ちがよく表れていた大変いい会議だったと思う。まちかどに出て案内していた方たちについても、ずいぶん苦小牧をPRしてもらえたと思っている。

#### ○副会長

聞いていて構想と計画と分け方というか、境目のところが難しいと思いながら聞いていた。こうしたらいいとか、こうしてほしいとかいろいろ出てきているが、どこで分けるかというところが、まだ理解できていない。

#### ○会長

これまで、何度か皆様の方に意見を出してもらい、進めてきたが、大体皆さんからの意見も出尽くしたのではないかと思っている。いろいろと事務局の方からも説明があるとおり、これからますます我々の苦小牧というまちの環境、社会情勢が大きく、人口減少、高齢化という波の中で変わっていく岐路にあり、今後のまちづくりを大きく変えていくことになると思う。この基本構想、10年間というスパンの中での長い構想になるが、この基本構想、基本計画という部分の、具体的な部分のものについても、ぜひ皆様の方も、基本計画のパブリックコメントに、ぜひ参加してもらい、意見を述べるようお願いできたらと思う。以前にも話

したが、私たち苫小牧に住む市民が、この育ったまちでこれからも永く住み続けたいと思えるようなまちづくりができることが一番大切だと思うし、今後人口減少が予想される中で、若い市民の皆さんが安心していろいろなことに取り組めるまちであり続けてほしいと思う。また、子どもからお年寄りまで全ての市民が支え合って、健康的な生活ができるまちであってほしいと思う。

この基本構想について、今回事務局から修正案も含めて出してもらったが、議員協議会の意見等も踏まえて、再度、今後の総合計画策定の作業を進めてもらいたく思う。

#### (4) 答申について

##### ○会長

答申については、今までの会議や意見募集で出された意見、今回出された意見等をもとに答申書をまとめていくことになる。答申書作成については、今後、会長、副会長に一任をしてもらう形をお願いできればと思うが、よろしいか。

〈異議なし〉

異議なしということで、私と副会長の方で、皆様から出された意見を踏まえながら、答申書の作成を進めていきたいと思う。

#### 3 連絡事項

##### ○事務局

答申案については、会長、副会長に一任となったので、今後案が完成次第、皆様には報告したいと思う。

#### 4 閉会